

1. 学習項目

そろばん

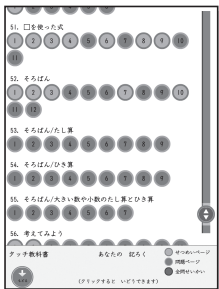
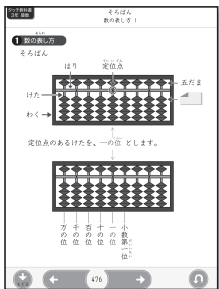
2. 本時の目標

- ・そろばんの数の読み方や入れ方を知り、タブレットのそろばんで操作することができる。

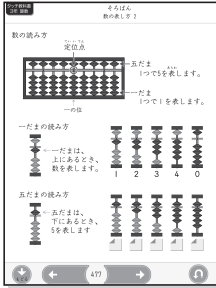
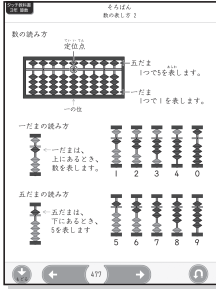
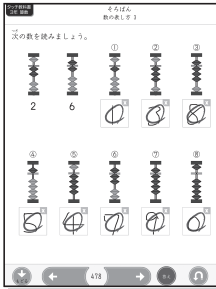
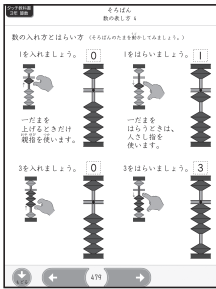
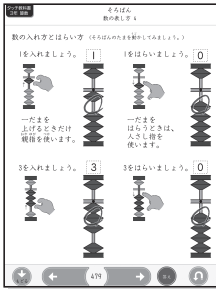
3. 本時の展開

「タッチ教科書」をこの学習で使うポイント

- ・タブレットを使って学習することにより、興味をもって学習に取り組むことができる。
- ・そろばんの数の読み方、入れ方を、そろばんがなくても学習することができる。
- ・タブレットが正解・不正解をすぐに判定するので、授業時間を効率よく使って、学習することができる。

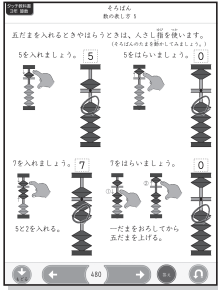
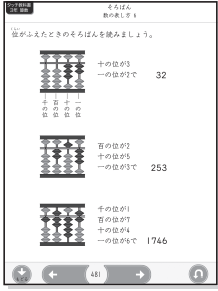
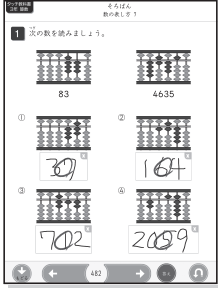
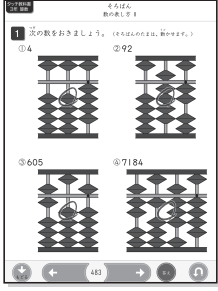
	画面例	教師の働きかけ	児童の活動
つかむ	この学習は、そろばんの基本である数の読み方、数の入れ方を、タブレットを使うことによって丁寧に学習し、身に付けることを目標にしています。		
	 スタート画面  記ろく	「みなさんは、“そろばん”を知ってますか？」 「これがそろばんです。(実物を見せる) この玉を動かして計算することができます。」 「今日はタブレットを使って、そろばんの学習をします。」 「それでは、タッチ教科書の【記ろく】をタップして、52の2をタップしましょう。」	「見たことがあります。」 「そろばんを習いに行っています。」 「今は電卓で計算できるね。」 「タブレットを使うのは楽しみだな。」
見通しをもつ	 P.476 一だま以外のカバーを タップしたところ	「まず、そろばんのいろんな部分の名前を覚えましょう。水色のカバーをタップして、声に出して読みましょう。」 「では、次の477ページに進みましょう。」	「けた、わく、はり、定位点、五だま、一だま、一の位。」 「定位点のあるけたが、一の位になるんだね。」

memo

	画面例	教師の働きかけ	児童の活動
見通しをもつ	 P.477 一だまの読み方を タップしたところ  五だまの読み方を タップしたところ  P.478 解答後答え合わせを したところ	「数の読み方です。一だまは、1つで1です。下に下がっている玉は数えないで、上に上がっている数を数えます。」 「“一だまの読み方”の右側の水色のカバーを、数を予想してから、1つずつタップしていきましょう。」 「五だまは、1つで5です。上に上がっている時は数えないで、下にある時に5を表しています。五だまと一だまを組み合わせることで、そろばんは数を表すことができます。」 「“五だまの読み方”の右側の水色のカバーを、数を予想してから、1つずつタップしていきましょう。」 「では、478ページへ進みましょう。」 「数の読み方を練習します。」 「まず、水色のカバーを、数を予想してから、1つずつタップしていきましょう。そのあと、①～⑧の数を読んで、青い線の四角に数を手書きで書きましょう。できた人は、答え合わせボタンをタップしましょう。」 「479ページに進みます。」	「これは一だまが3つ上がっているから、たぶん3。(タップして) やっぱり3だ。」 「一だまは4つしかないね。それ以上は?」 「これは五だまと一だま2つだから、たぶん7。(タップして) やっぱり7だ。」 「これで、0から9まで表せるね。」 「③は五だまと一だま3つだから、5+3で8だ。」 「⑧は五だまが上で一だまが下にあるから0だ。」 「数字を描き間違えても×ボタンをタップすると消えるので、書き直せるよ。」 「全部丸がつきました!」
確かめる	 P.479 解答する前  解答後答え合わせを したところ	「数の入れ方とはずし方を練習します。はずすことを“はらう”と言います。」 「まず、一だまの入れ方とはらい方です。一だまを入れる、つまり上げる時は、親指を使います。最初の図で、親指を使って1を入れてみましょう。」 「一だまをはらう、つまり下げる時は、人差し指を使います。右の図で人差し指を使って一だまをはらいましょう。」 「同じように下の図で、3を入れるのと、はらうのをやってみましょう。できた人は、答え合わせボタンをタップしましょう。」	「上の四角の中に、すぐ1と出たよ。」 「1だったのが、すぐ0になりました。」 「できました!」 「全部丸になりました。」

確
か
め
る

ま
と
め
る

	画面例	教師の働きかけ	児童の活動
	 P.480 解答後答え合わせをしたところ  P.481 カバーをタップしたところ  P.482 解答後答え合わせをしたところ  P.483 解答後答え合わせをしたところ	「480ページに進みます。」 「五だまは、入れる時もはらう時も、人差し指を使います。5より大きい数の時は、五だまと一だまを組み合わせますので、このページで練習しましょう。」 「できた人は、答え合わせボタンをタップしましょう。早くできた人は、やりなおしボタンをタップして、最初の状態に戻して、何度でも練習しましょう。」 「481ページに進みます。」 「定位点が一の位でしたね。けたが多くなっても、数の読み方は同じです。水色のカバーを、数を予想してから1つつつタップしていきましょう。」 「482ページに進みます。」 「まず、水色のカバーを、数を予想してから、1つつつタップしていきましょう。その後、①～④の数を読んで、青い線の四角に数を手書きで書きましょう。できた人は、答え合わせボタンをタップしましょう。」 「483ページに進みます。」 「使う指を意識して練習しましょう。できた人は答え合わせボタンをタップしましょう。」 「早くできた人は、やりなおしボタンをタップして、最初の状態に戻して、何度でも練習しましょう。」	「親指は一だまを上げる時だけ使うんだね。人差し指が大活躍だ。」 「全部丸になったから、やりなおしボタンをタップして、もう一度練習しよう。」 「これは千七百四十六。(タップして) 予想通り！」 「④は、百の位がないから、二千と、とんで五十九だ。」 「全問正解！」 「自分でたまを動かせるから、楽しいね。」 「けたが多くなっても同じだから、簡単だよ。」 「できた！全部丸だ！」 「やりなおしボタンをタップして、もう一度練習しよう。」
		「今日はどんなことを学習しましたか？」 「タブレットを使って学習したので、そろばんの数の表し方がよくわかりましたね。」 「これからも算数の学習をがんばりましょう。」	「そろばんの数の読み方、入れ方を学習しました。」 「定位点が一の位なので、けたが多くなっても読んだり入れたりできました。」 「たまを動かす指が、まだ慣れていないので、もっと練習したいです。」